

和歌山県特定複合観光施設設置運営事業 実施方針（案）の概要

1 IR 区域の整備の意義及び目標

意義 和歌山県がさらに発展していくためには、国内外から多くの観光客を惹き付け、大きな経済効果や雇用効果が見込める「IR」という新たな成長産業が必要

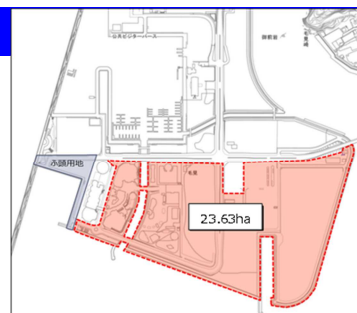
構想 多種多様な観光資源を背景としたリゾート型 IR とし、Sports & Wellness をコンセプトに掲げ、オーシャンフロントの立地と自然や温泉、食文化など和歌山県が有する豊富な資源を生かし、多様なマリナクティビティとも連携することで、海洋リゾートの魅力を存分に発揮し、都市部では体験できない自然志向の楽しみと癒やしを提供

目標 政府の観光戦略において目標とする2030年に訪日外国人旅行者数6,000万人、訪日外国人旅行消費額15兆円、地方部での外国人延べ宿泊者数1億3,000万人泊などの達成に貢献

- ▶ 地方部と世界をつなぐ新たな観光ゲートウェイの形成
- ▶ 関西圏のみならず、伊勢湾、紀伊半島、四国圏などに存在する魅力的な観光資源をつなぎ、巡礼や食文化といったストーリー性を持つ新たな観光街道を形成
- ▶ リゾート型 IR ならではの MICE ビジネスの展開

2 IR 区域を整備しようとする区域の位置及び規模

- ▶ 所在地：和歌山マリーナシティ
- ▶ 面積：23.63ha
- ▶ 価格：約 86.7 億円



3 和歌山 IR の概要

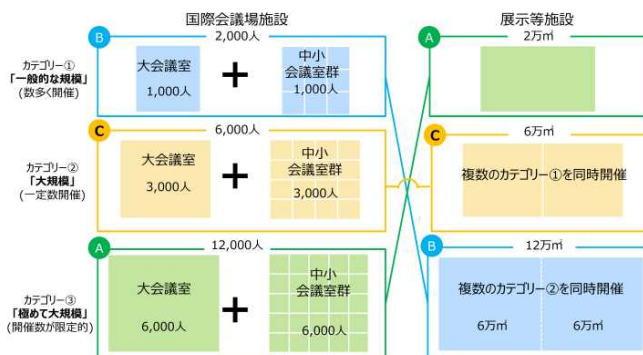
▶ IR 施設

- ▶ 民間ならではの自由な発想で、日本の伝統・文化・芸術等を提供
- ▶ 日本遺産「和歌の浦」と調和する意匠
- ▶ 象徴的で先進性のある建築物

・MICE 施設(国際会議場、展示等施設)

※右図いずれかの組み合わせ

- ・魅力増進施設
- ・送客施設
- ・宿泊施設（概ね 10 万㎡以上）
- ・カジノ施設（IR 施設の床面積合計の 3%を超えない規模）



▶ IR の方向性

- ・スマートな IR、環境への配慮、多様な来訪者への配慮、防災対策等
- ・地域への貢献と配慮、人材の育成と確保
- ・交通アクセスのネットワーク形成、観光公害対策

▶ 国際競争力の高い魅力ある滞在型観光の実現

- ・カジノ事業の収益を IR 施設の整備その他和歌山 IR の事業内容の向上等に活用
- ・インバウンドの促進や和歌山 IR/MICE 推進協議会（仮称）による MICE 誘致の推進

▶ 有害な影響の排除

- ・多様かつ重層的なギャンブル依存症対策（IR カードの導入、依存症対策専門員の配置など）
- ・犯罪の発生の予防、善良な風俗環境の保持（警察官の増員、警察施設の設置など）

4 事業期間・費用負担

- ▶ 事業期間：40年間
- ▶ 和歌山 IR における費用負担
 - IR 事業者は、原則として和歌山 IR の実施に要する全ての費用を負担
 - 審査料（1 事業者あたり 1,000 万円）

5 事業者の選定方法等 ※詳細は募集要項で示す

- ▶ 有識者等からなる「事業者選定委員会」を設置
- ▶ 事業者選定委員及び優先権者選定基準は募集要項とともに公表
- ▶ 選定手順（参加資格審査 ⇒ 提案審査 ⇒ 優先権者選定）

6 IR 事業者の責任の履行確保とリスク分担の在り方 ※詳細は実施協定で示す

- ▶ IR 事業者の責任の履行確保
 - ・計画や目標等の達成状況について県がモニタリングを実施
 - ・毎事業年度の事業計画及び事業実施状況の報告書を県へ提出
- ▶ リスク分担の在り方
 - ・和歌山 I R におけるリスクは、実施協定等に特段の定めのない限り IR 事業者が負う

7 スケジュール

- ▶ 2024 年度の IR 開業を目指す

時期	項目
2020 年春頃	実施方針の策定・公表
2020 年春頃	募集要項等の公表
2020 年春頃～夏頃	競争的対話の実施
2020 年夏頃	提案審査書類の提出期限
2020 年秋頃	優先権者の選定
2020 年秋頃	基本協定の締結
2021 年 7 月 30 日まで	区域整備計画の認定申請
2021 年秋頃～冬頃	国による区域認定
区域認定後速やかに	実施協定の締結
2022 年春頃	土地の引き渡し
2025 年春頃	I R 開業